



今年度も無事に第3号を発行することができました。いつもお読みいただきありがとうございます。今回は、「ゲームと学力の影響」について掲載しました。コロナ禍による巣ごもりで、ゲーム時間が以前より伸びていることはありませんか？ぜひ、御家庭で見直す参考になればと思います！！それでは、今回も「ほっこりタイム」から御覧ください。

ほっこりタイム

第2回

しあわ

『 幸せに生きる力 』

長引くコロナ禍で、子ども達も保護者の皆さんも、多くの不自由やストレスを抱えていらっしゃると思います。

「安全・安心で豊かな学校生活を子ども達に！」と、日々思い悩みながら奮闘して下さっている先生方のご苦労も、さぞかし大きいことでしょう。

この「ともしび」がお手元に届くころには、感染拡大が収まってほしいです。

とはいえ、私たちの社会は、未知のウィルスや気候変動による大きな災害など、何が起こるか予測のつかない時代に入りつつあるのかもしれない。社会の在り方も、コロナ禍を機に変化してきているように感じます。こんな時代だからこそ、子ども達には、たくましく未来を切り拓いて元気に幸せに生きる力を身につけてほしい！辛いことや理不尽なことにも押しつぶされず、困難や逆境を乗り越えて、幸せに生きてほしい！これは多くの親の願いでしょう。

この願いの実現のために家庭でできることの一つは、親が子どもの行動に肯定的な気持ちを感じた時、真実の思いを伝えて（うそやお世辞ではなくネ～笑）、喜びや感謝を分かち合うことです。

「あなたが生まれてきてくれて、本当に幸せ！」「あなたが笑っていると、お母さんも楽しい」「最後まであきらめずに挑戦する姿を見て、お父さんも頑張ろうって背中を押されたよ」

愛情に満ちた言葉は、子ども達の「幸せに生きる力」を育てます。

人生の節目となる卒業・入学・進級の季節・・・

成長を喜ぶ気持ちを、まっすぐに届けるチャンスかもしれませんね。



コラムニスト

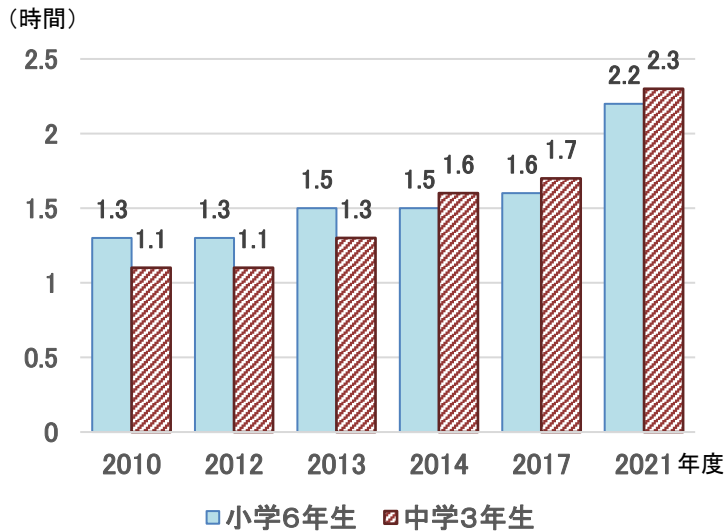
静岡県人づくり推進員 兼
親業訓練インストラクター

尾駒 眞理

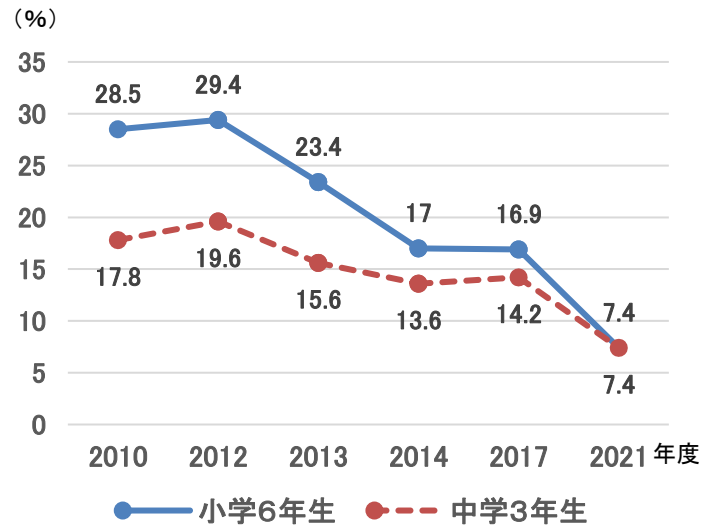
ゲームは学力に影響があるの？

保護者の方から、「ゲームをする時間が長くて…」、「学力が心配で…」という声をよく耳にします。毎年実施している全国学力・学習状況調査（小学6年生・中学3年生）の結果をもとに、各家庭での利用を見直す参考にしてください。

1 平日にゲームをする平均時間



2 平日に全くゲームをしない人の割合

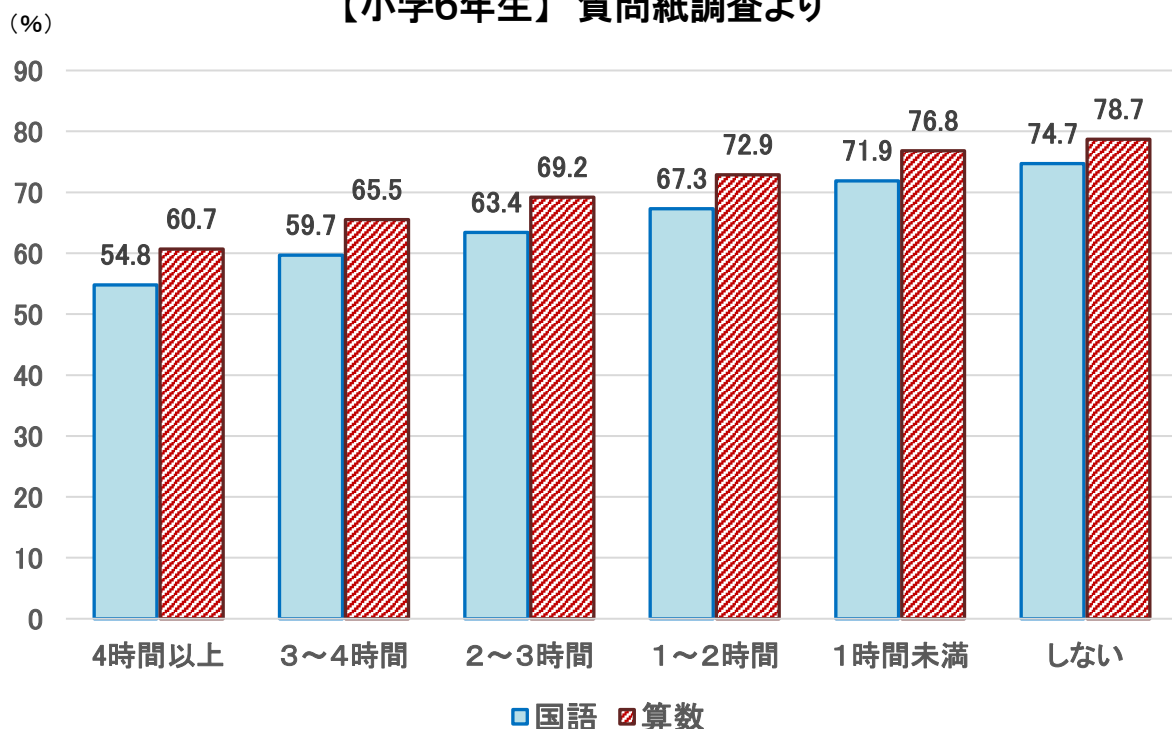


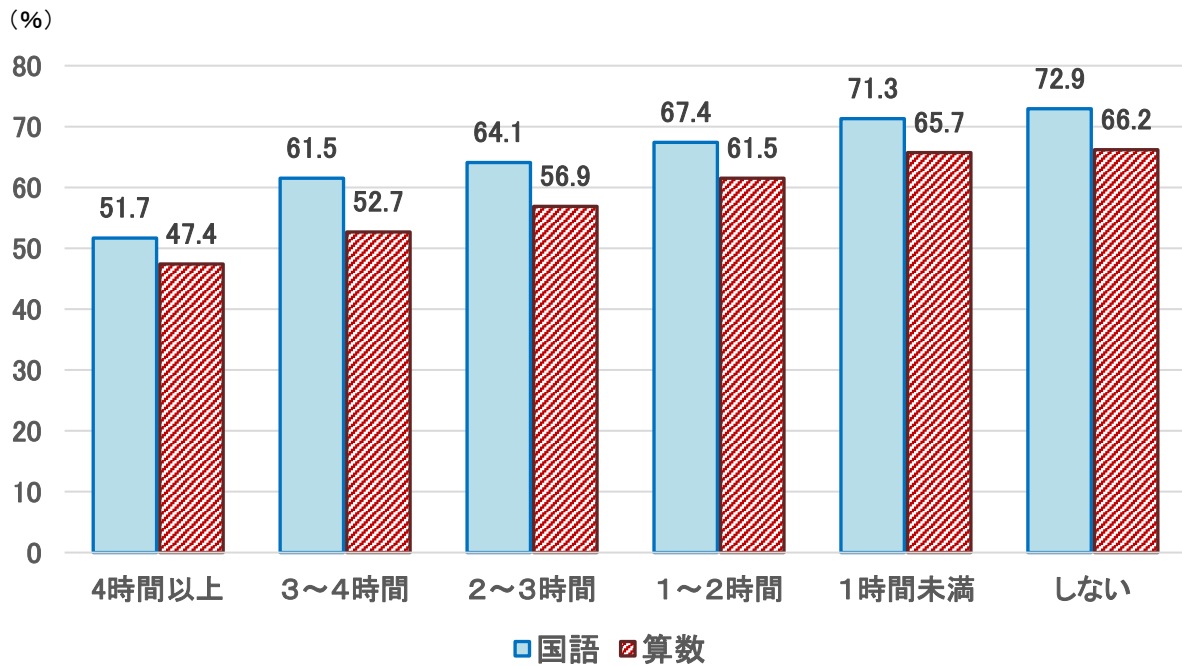
※ゲームには、パソコン、携帯ゲーム機、従来型携帯電話、スマートフォンの利用を含みます。

この10年で平日の利用時間の平均はおよそ1時間伸びており、平日ゲームをしないという人は今や1割にも満たないという結果が明らかになっています。子どもたちにとって、ゲームは最も身近な娯楽の1つになっていることが分かります。

3 平日にゲームをする平均時間と教科の平均正答率との相関関係（2021年度）

【小学6年生】質問紙調査より





小学6年生、中学3年生のどちら年代においても、平日のゲームの利用時間が短い人ほど教科の平均正答率が高いという結果が出ています。平日のゲーム時間ですので、学校から帰宅してからと考えると、多くの時間をゲームに割いていると言えます。ただし、この結果は「相関関係」です。相関関係とは、2つの事柄が密接にかかわり合い、何らかの関連性ある関係のことです。したがって、ゲーム時間（原因）によって正答率（結果）が表れているという因果関係ではありませんので御注意ください。



一人1台タブレット端末の利用によって、スクリーンを見る時間が伸びるのは仕方ありませんが、自分が自由に楽しむゲームや動画の時間は、1日「1時間以下」が理想的です。短いという人は、土日等を利用して、今日は少し長い時間楽しむ日、今日は短い時間にする日などメリハリをつけてみるのも1つの方法です！

「わたしの主張 2021 富士宮大会」表彰式及び作文発表

1月13日（木）に開催された令和3年度第2回青少年指導員全体研修会の冒頭にて、受賞者の表彰式と、最優秀賞作文の発表を行いました。初の試みに参加者からは「作文の内容がすばらしかった」、「他の受賞者の作文内容も聞きたい」「次年度以降も取り組んでほしい」など、肯定的な感想が多く寄せられました。

【受賞者一覧】

最優秀賞	富士宮第三中学校	3年	佐藤	綾音	「あたりまえのその先に」
優秀賞	富士宮第三中学校	3年	小泉	麗桜	「人の事を考え、行動する」
優秀賞	井之頭中学校	3年	山崎	夏生	「あたたかい日常」
佳作	井之頭中学校	1年	赤池	真緒	「殺処分ゼロを目指して」

第3回 青少年相談センターってどんなところなの？

こんな相談を受け付けています。

- なんだか、最近不安なことばかりで、何事もやる気が起きないよ。
- 家から出たくない、学校(仕事)にも行く気持ちがおきないよ、学校(仕事)が遠くに感じるよ。
- 疲れやすいんだよな、どうしてかな、疲れてるのに眠れないんだよな…。
- ネットやゲームにはまってやる気がおきない、気になって夜も眠れないし朝も起きれないな。
- 友人関係がうまくいかないんだよな、話しかけ方がわからないよ、人に会うのが怖いよ。
- 自分の性別に違和感があるな。
- いじめられてるけど、誰にも言えないよ。
- 誰なら私に気づいてくれるの。
- さびしい、生きていくのがつらいな。
- 収入が不安定で先行きが見えないよ。
- 私なんか必要とされていないんだ。

こんなときは、22-0064

もしくは 22-1252 へ

適応指導教室に通う中3生徒の作文から

私は中学 1 年生からセンターに通い始めました。最初は、知らない人がいる場所が苦手で、あまり通えませんでした。2年生になり、家族からの協力もあって、半日だけですが休まず通うようになり、今では毎日、一日中楽しくセンターへ通っています。

センターは先生たちが優しく、人と話すことが苦手だった私も以前に比べていろんな人と話せるようになりました。そして、勉強でわからないところはしっかりと教えていただき、どんどん得意なことが増え、そのお陰で志望校に合格することができました。

また、月に一度の「馬の教室」など、とても貴重な経験ができました。

センターに通っていたからこそ経験できたことを、これからの生活に生かしていきたいです。

「ちょっといい報告」～青少年指導員の活動～

青少年指導員は、富士宮市の各区から 128 名が選出され、28 の班に分かれて月 2 回の街頭指導を実施しています。

コロナ禍ではありますが、できる範囲で活動を行い、青少年の安全を見守っています。街頭指導は、補導が主な目的となりますが、地域全体で子ども達を見守り、犯罪抑止につなげるために、声掛けや挨拶にも力を入れています。

今回は、令和 3 年度の報告書より、「ちょっといい報告」を紹介いたします。

・今回は昼間気温が高かったので、暑い中での巡回となりました。途中の上小泉神社の湧水が出ている所でホタルを見ることができとてもよかったです。(親子4人で見に来ていました)また、東高では、部活終わりの生徒が多く挨拶してくれまして、活気が戻ってきている感じがしました。(6/9 13 班)

・中学校、小学校を經由し三番堀→万野1区方面を巡回した。途中で学校(塾)帰りの中学生に出会った。遅いので帰宅する旨を伝えたとき、素直な態度、明るい返事に気持ちの良い気分になった。(12/1 7 班)



★☆☆編集後記☆☆☆ 今回は、ゲームと学力について記事にしました。ゲームは楽しいものです。大人でも夢中になっている人はたくさんいます。スマホやネットも含めると、子どもとメディアのかかわり方に悩む御家庭は多いのではないのでしょうか。子どもは「今」を考え、保護者は「未来」を考えます。子ども、保護者がどちらも「〇〇さん(の家で)はね…」と、他の家を引き合いに出して説得しようとするのはよく見られる光景のようです。家庭の考え方やルールの在り方に、これが正解というものはありません。ただ、大事なことは、子どもの「脳」は成長過程にあることです。子どもが成長し「未来」を自分で考えられる日が来ることを願って、日々、子どもと保護者で折り合いをつけながら子どもの健やかな成長を支えていけるといいですね。文責：山村 明由